

医療安全推進委員会

委員長：磯貝 典孝

委員：内沼 栄樹、遠所 瑞弘、高木 誠司、根本 充、四ツ柳高敏

開催年月日：①平成 25 年 11 月 7 日、②平成 25 年 1 月 25 日

- 主な議題：1. 医療安全に関する情報収集
2. 医療用器材、医薬品の安全性に関する情報収集
3. 関連領域学会との情報交換
4. 1)～3)の学会ホームページへの掲載

活動の概要：1. 以下を学会ホームページに掲載した。

- i) 「特に医療の現在に情報提供すべき内容を含んだ重要な事例」
日本医療安全調査機構 (2013. 5. 9)
 - ii) 「医療ニーズの高い未承認医療機器等の早期導入に関する要望の募集」
厚生労働省医政局経済課医療機器政策室 (2013. 5. 27)
 - iii) 「医薬品・医療機器薬事先約相談事業の実施について」
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (2013. 7. 10)
 - iv) 「医療機器の不具合等報告の症例の公表および活用について」
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (2013. 8. 13)
 - v) 「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の改正について」
厚生労働省医政局長 (2013. 10. 8)
 - vi) 「医療安全全国フォーラム開催」
日本医療安全調査機構 (2013. 10. 23)
 - vii) 「高血圧治療薬の臨床研究事案を踏まえた対応および再発防止策について (中間とりまとめ)」
厚生労働省医政局長 (2013. 10. 22)
 - viii) 「医療機器の不具合等報告の症例の公表および活用について」
厚生労働省医薬食品局安全対策課 (2014. 1. 9)
2. 医療安全全国共同行動設立シンポジウムに出席 (平成 25 年 6 月 16 日・イイノカンファレンスセンター) (磯貝委員長)
職種や立場を超えた共同行動を通して医療安全を図る全国的な取り組みと、9つの具体的目標(危険薬、危険手技、周術期肺梗塞の防止など)が紹介された。
平成 25 年 7 月 5 日・第 3 回理事会にて、医療安全全国共同行動の一般社団法人化に伴い団体会員として加盟することが決議された。
3. 医療安全全国共同行動 連絡会議に出席 (平成 25 年 11 月 22 日・イイノカンファレンスセンター) (磯貝委員長)
医療安全に関わる具体的な取り組みとしては、現在、学術講講習会において医療安全テーマとして取り上げている。今後、学会プログラムの中で独立したテーマとして取り上げる方向で検討。
4. 日本医療安全調査機構 平成 25 年度トレーニングセミナーに参加 (平成 26 年 3 月 1 日・国立国際医療研究センター) (磯貝委員長)
“院内調査の精度を上げる”ためのセミナーでは、手術安全チェッ

クリストの導入の徹底が強調された。また、院内事故調査を行う際に有用となるロンドンプロトコールが紹介された。

5. 日本医療安全調査機構 “診療行為に関連した脂肪の調査分析モデル事業” に出席(平成 26 年 3 月 10 日・日本外科学会会議室)(磯貝委員長)

新“医療事故調査制度”(平成 27 年 10 月より施行予定)について説明があった。また、機構の今後の活動方針についても、追加説明があった。